

令和2年度 第10回 国立大学法人北海道大学総長選考会議議事要旨

日 時 令和3年2月19日（金）15：00～15：54

場 所 WEB会議

出席者 9名

（学外） 石山、浅香、長澤、松谷 各委員

（学内） 小名木、吉岡、堀口、西邑、中垣 各委員

欠席者

（学外） 横山 委員

オブザーバー

吉見理事、高橋監事、石川監事

配付資料：

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 総長に関する内部統制の体制について |
| 2 | 総長の業務執行状況の確認及び業績評価について |
| 3 | 令和3年度に実施する業務執行状況の確認スケジュール（予定） |

議 事

議事に先立ち、事務局から、令和3年1月19日に開催された令和2年度第9回総長選考会議の議事要旨について確認があった。

【 議 題 】

1 総長に関する内部統制の体制について

事務局から、資料1に基づき、総長に関する内部統制の体制について説明があった後、審議した結果、大学に対し提言を行うことが了承された。

なお、提言の内容については事務局にて文案を作成の後、委員へ提示することが併せて了承された。

（主な意見）

- ・総長選考会議と監事の機能や役割をそれぞれ考えたうえで提案する必要がある。

2 総長の業務執行状況の確認について

事務局から、資料2に基づき、総長の業務執行状況の確認について説明があった後、審議した結果、「総長の業務執行状況の確認及び業績評価について」を令和3年2月19日付けで改正することが了承された。

なお、詳細の手続については次回以降引き続き審議することとなった。

(主な意見)

- ・法人評価を繰り返すような内容とするのではなく、パーソナルな部分も確認できるような内容にする必要がある。
- ・単に批判的なチェック機能とするのではなく、総長に対してアドバイスを行う等のポジティブなチェック機能として働くことが望ましい。
- ・教員や事務から意見集約や総長との意見交換を行うことは良いシステムである。
- ・監事が問題を発見したときにその役割としてアラートを鳴らすことができるよう選考会議と監事の連携も必要である。

(以 上)